

2024 ASIAN ROWING CHAMPIONSHIPS

Report 6(10/11)

10月11日(金)

アジア選手権2日目、グループBの種目が行われました。日本からは予選レースにM1xが、そして予備レースにLW2xとM8+が登場しました。

近年ではアジアのレベルも上がっており、大会は予選から熱戦が繰り広げられております。

M1x 予選

強い逆風の中でレースがスタート。スタートでトップスピードに乗り、いきなりトップに躍り出るもすぐに中国に並ばれる。300m付近でミスオールからスピードが多少鈍ったところで中国に前に出られるが、予選通過ラインの2位争いを隣のレーンのカザフスタンと長いレンジで1本1本進めてくるイラクと激しく争いながら500mを通過。第2クォーターに入りカザフスタンがスピードダウンし日本が2位、一艇身遅れて3位イラクが続く形で1000mを通過。

後半になり強い逆風の中イラクが長いレンジでじりじりと日本との差を詰めてくるが、日本も対応し粘り続ける。ラストクォーターに入りイラクがさらにギアを上げ猛追をしてきたが、日本も適切にスパートを入れ僅差の2位でゴール。見事決勝進出をものにした。



1750m付近で激しく争う3レーンのM1x宮口選手(日本大学)と1レーンのイラク。ゴールでは0.254秒差の僅差で決勝進出をものにした。

LW2x 予備レース

強い逆風が続く中、スタートから攻めトップのイランに続き2位争いをタイ、ベトナムと繰り広げる。コンスタントに入ったところでややスピードに乗り切れず徐々に上位の3か国と差がつき始め、そのまま大きくかわることなく4位でゴール。

難しいコンディションの中、国内でやってきたことと決勝に向けての課題を確認することができた。

※予備レースは計量の関係により最下位扱いとなっております。



レースに向け出艇するLW2xクルー。
写真左からS成瀬選手(中部電力)、B
四方選手(陽進堂ホールディングス)



1レーンベトナムに食い下がるLW2xクルーのS成瀬選手(中部電力)、B四方選手(陽進堂ホールディングス)。

M8+ 予備レース

午前中からさらに強くなった逆風の中スタート。日本はトップに躍り出るが、強力な逆風の中長いドライブで艇を動かすウズベキスタンがじりじりスピードを上げ400m付近でならばれ500mを2位で通過。3位はカザフスタン。その後も強い逆風に苦しみながらも、アタックごとに艇を伸ばすがトップを走るウズベキスタンには届かず距離が進むごとに差がじりじりと開いていく。

最終的には7.9秒差の2位でゴール。逆風の中でも積極的に攻めた効果で、2日後の決勝に向けてさらに艇速を伸ばすヒントを見つけることができる内容となった。

予備レースに向って出艇するM8+クルー。写真左からS佐々木心選手(NTT東日本)、7中田選手(明治安田)、6中溝選手(NTT東日本)、5福田選手(東レ滋賀)、4柘植選手(トヨタ紡織)、3是谷選手(トヨタ紡織)、2橋本選手(明治安田)、B林選手(NTT東日本)



パウナンバーがしなる程の強風のなか、1位ウズベキスタン(手前)に食らいつくM8+クルー。写真左からC西村選手(明治安田)、S佐々木心選手(NTT東日本)、7中田選手(明治安田)、6中溝選手(NTT東日本)、5福田選手(東レ滋賀)、4柘植選手(トヨタ紡織)、3是谷選手(トヨタ紡織)、2橋本選手(明治安田)、B林選手(NTT東日本)

10月12日(土)の出漕クルー

W1x飯島選手(明治安田)
10月12日(土)決勝10:00(日本時間
14:00)発艇



男女のシングルスカルが決勝進出を決めたため、10月12日(土)、13日(日)に行われる決勝には4クルー全てが進むことになりました。

ここからさらにチーム一丸となって戦ってまいりますので、引き継ぐ気ご声援のほど、よろしくお願い申し上げます。